

2016 年新年街宣

ご近所の皆さん、日本共産党です。2016 年の新しい年を迎えました。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。私、村議の大名美恵子です。この場から 2016 年の新年にあたり、今私たち村民が安心して暮らしていくために大切と考える 3 点について訴えさせていただきます。

1 つは、安倍自公政権が国民世論を無視して強行した戦争法を廃止することです。

戦争法は、「戦争はしない」と誓った日本国憲法9条を蹂躪し、日本を「海外で戦争する国」につくりかえるものです。戦後70年間、日本の平和を守ってきたのは、武力による抑止力ではありません。二度と戦争はしないと世界に誓った憲法9条の「戦闘地域には行かない、武力行使はしない」という歯止めがあったからです。私は、自衛隊を「殺し・殺される」戦地に送る憲法違反の法律は、絶対に認められません。皆さんと力をあわせて「野党共同」の流れを大きく広げ、戦争法廃止の新しい政府をつくるため全力をつくします。

2 つ目は、東海村をくらしを守るあたたかい村政にすることです。私ども村議団が行ったアンケート調査では、「年金が減らされて将来が不安でならない」「教育費は子どもの成長につれ増えていくのに、村からの手当ては減っていく」など、切実な声が沢山寄せられました。

しかし村は、コミセン利用の減免団体を大幅に減らし、実質有料化しました。また介護保険利用助成制度の廃止、村立こども園の給食調理の民間委託など、村民の負担を新たに求め、行政サービスを大幅に後退させました。

来年度も、公立幼稚園と学童クラブの保育料の値上げほか、公的責任を放棄する計画が目白押しです。

私は、村がこの間、使わずにためこんだお金 138 億円を、村民生活支援に優先して使うよう求め、地方自治体の仕事「住民の福祉の増進を図る」ことをしっかり果たす村政を求めます。

3 つ目は、東海第二原発は再稼働をストップし廃炉にすることです。

稼働 37 年が過ぎ、老朽化が著しい東海第二原発は、東日本大震災でも深刻な被害を受けました。仮に過酷事故になれば、原発からほぼ 5 キロ圏内に住む東海村民は被曝しないで避難することはほとんど不可能です。また東海村は住み続けることができなくなります。

避難計画は、作ったとしてもその実効性はありえません。

日本共産党は、村民の命とくらしを守るために、東海第二原発は廃炉にするよう求めます。

同時に、「原発が廃炉になったら雇用がなくなる」、「村内の商工業への影響が大きい」と心配される方々の声も受け止めています。皆さん、原発の廃炉作業には数十年かかり、新たな雇用や廃炉に向けた技術者・研究者の育成も必要となります。こうした中で、村内の商工業を活用する、またすでに始まっている太陽光発電など自然エネルギー利用で活用する、それでもまだ活性化のために不十分というときに、村も一緒になって新たな活性化の道を研究することが重要と考えます。

何より、国の責任で新たな雇用創出と、地域経済の活性化を図るよう求めます。

皆さん、日本共産党は、今年も皆さんと力をあわせて住んで良かったといえる東海村を目指してがんばります。ご支援をどうぞ宜しくお願いいたします。以上で訴えを終わります。

ご協力いただきましてありがとうございました。